

横浜市立 南戸塚小学校 学校評価報告書 (令和4～6年度)

重点取組分野	令和4年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	①単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをし、目指す姿や身に付けた力を子どもたちと共有することで主体的に学習を進められるようにします。②重点研テーマを「主体的な学びを大切に、互いに認め合える子の育成」とし、国語科を中心に授業研究に取り組み、言語活動の充実を図りながら表現力を高めるとともに、主体的に課題に向き合い、他者と協働しながら解決しようとする姿を目指します。③ICTの活用を積極的に取り入れた授業づくりをします。	①主体的に学習が進められるように、1時間ごとの授業のめあてを明確にすることにより、子どもたちに身に付けさせたい力や目標を見通し進められるようにした。②重点研テーマ「主体的な学びを大切に、互いに認め合える子の育成」を目指してICTも活用しながら、学年で協力して研究に取り組むことができた。	B
豊かな心	①全教育活動を通して道徳教育の充実を図ります。②学校行事、ペア活動の充実を図り、様々な集団活動を通し、思いやりの心や協力する心、自己有用感を育てます。③家庭や地域との連携を図り、様々な人と関わることで気持ちをつなげるよさを実感できるようになります。	①メンター研・授業参観・土曜参観で道徳科の授業公開を行った。②運動会・音楽会・集会などでペア活動を行うことにより、思いやりの心や協力する心につなげていくことができた。③運動会・音楽会・授業の中で、家庭や地域と連携を図り、人と関わることでよさを実感できるようになった。	B
健やかな体	①規則正しい生活をしようとする態度を育てるとともに、子どもたちの主体的な活動を通して基本的な生活習慣を整えていきます。②体育科を中心とした健康に関する学習の充実を図ると共に、制限された環境の中でも運動量を確保しながら、体力向上を目指します。③計画的に食育に取り組み、食事の重要性についての理解を深め、食への興味関心を高めていきます。	①夏休みには、「健康カレンダー」を通して、自分の健康に関心をもって過ごしていけるようにした。②制限された環境の中で、子どもたちが体育科の楽しさを実感できるよう、対話による課題解決や学習資料の活用しながら授業を行った。③定期的に栄養指導を取り入れることにより、食事の重要性についての理解を深めることができた。	B
地域連携	①ナントツ協働運営協議会において、学校運営方針を積極的に発信するとともに、授業や学校行事の参観を通し客観的な意見や評価をいただき、子どもたちにとって最善の教育活動実現に向けて取り組みます。②地域の教育力を積極的に学校での教育活動に取り入れ学びの環境の充実を図ります。	①ナントツ協働運営協議会を開催し、授業参観や校内音楽会・運動会などで児童の様子をみていただき、様々な意見をいただくことができた。②地域の協力を得ることにより学びの環境の充実を図ることができた。	B
いじめへの対応	①月1回定期的に校内いじめ防止対策委員会を実施し、専任を中心とした組織的な児童指導・支援体制を整え、教職員がチームとして認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努めます。②日常に潜むいじめについて丁寧な実態把握に努め、子どもの心情に寄り添うことを徹底します。	①2校校内いじめ対策防止委員会を月1回実施した。いじめ認知した案件や見守り中、解消中のものについてを確認し、児童の様子・課題等の報告も行った。教職員全体で丁寧な経過観察ができるようにした。また、いじめ認知の認識を再確認し、基本対応や3カ月の見守りを徹底した。	B
人材育成・組織運営(働き方)	①各学年の学級担任が互いに教科分担任することにより、学年の全ての教員が全ての児童と日常的、継続的に関わる状況を生み出し、児童の心の安定につなげることを目指します。②メンターチームの活動の充実とともに、教科指導・人権教育・児童指導・危機管理対応などの能力向上を図ります。③会議の内容精選や組織の仕事分担の効率化を図り、全職員の働き方改革につなげます。	①教科分担任制にすることにより、教員が学年の児童と関わる時間が増え、児童理解にもつながった。②メンター研を月1回行うことにより、能力の向上を図ることができた。③会議の内容精選することにより、仕事の効率化を図ることができた。	B
児童指導	①担任、専任、専科が連携し合い、情報を素早く得ると共に、管理職や全体での情報共有を迅速に行い、チームとして児童指導にあたるようにします。②学校のきまりや生活スタンダードを共通理解し、児童に対する指導が変わらず一定のものになるようにすることで、子どもが安心して学校生活を送ることができるようにします。	①チームとして担任、専任、専科が連携して情報を共有し、管理職や全体へも迅速に共有を行い、児童指導にあたることになった。②学校のきまりや生活スタンダードも、教務会で共通理解することにより、児童に対する指導を統一することができた。	B
特別支援教育	①特別支援コーディネーターを複数配置し、配慮を要する児童に対して、共感的な児童理解を大切にしながら、個に応じた支援体制を充実させます。②必要に応じてスクールカウンセラーや外部機関とも連携を密にし、より良い支援の在り方を考え実践していきます。	①コーディネーターを中心とした実務委員会や各学年の主任が集まる教務会で、配慮が必要な児童に関する情報交換を行った。その情報を各学年に共有することで支援体制を整えることができた。②教育相談後に各担任とカウンセラーの打合せを丁寧に行ったことにより、よりよい支援のあり方について考え、実践に移すことができた。	B
安全管理	①児童の安全を第一に考え、日常の教育活動の他、行事や校外学習等での安全に十分配慮し、けがや事故の未然防止に向けた対策を徹底します。②子どもたちが安心・安全に過ごせるように環境整備を推進すると共に、防災訓練・交通安全指導等を通して、危機管理意識を高めていきます。	①日常の教育活動、行事や校外学習等での計画を職員同士で共通理解することにより、安全を十分に配慮することができた。②定期的に防災訓練・交通安全指導等を行うことにより、子どもたちが安心・安全に過ごすことができた。	B
ブロック内評価後の気付き	合同授業研究会をや中学校職員による小学校授業参観、合同の人権研修を行うことにより、「他の人や社会に役立つ人を目指して、主体的に行動し、たくましく生きる子ども」を目標とした各教科・領域の取り組みについて、共通の視点をもって教育活動を展開していくことができた。YPAアセスメントを実施し、児童・生徒の社会的スキルの状況把握と育成に努めた。人権教育のあり方について、情報交換を行い、互いの実践について高め合うことができた。新型コロナウイルス感染症の為、約2年間ブロックでの交流が実施できず、その間に職員の異動等でブロックでの情報共有が難しい状況だったので、これからも、ブロックでの共通認識を高めていく必要がある。	ブロックでの交流がコロナ禍以前の状態に戻り、合同の人権研修会、合同授業研究会や中学校職員による小学校授業参観を行うことができた。「他の人や社会に役立つ人を目指して、主体的に行動し、たくましく生きる子ども」を目標とした各教科・領域の取り組みについて、共通の視点をもってより充実した教育活動を展開していくことができた。YPAアセスメントを実施し、児童・生徒の社会的スキルの状況把握と育成に努めた。コロナ禍とその間の教職員の異動で、ブロックでの情報共有が難しい状況だったが、今年度は、9年間で育てる子ども像の実現のための資質と能力についての共通理解を図ることができた。	
学校関係者評価	学校と家庭、地域が一体となって子どもの成長を見守ることができている。今年度も、ナントツ協働運営協議会を5回開催することができ、運動会・校内音楽会・授業参観などに参加していただき評価を受けた。運営委員の皆さんからは、概ね良い評価や感想をいただいている。協議会の中で学校と地域・家庭の連携の大切さを確認し、学校評価の結果を基にした今年度の振り返りや次年度に向けての改善等について報告した。来年度に向けてのご意見等を基に、よりよい教育活動を目指して、連携・協働を図りながら取り組んでいきたい。ブロック中学校職員による授業参観では、児童の様子や授業についての肯定的なフィードバックを受けている。	学校と家庭、地域が一体となって子どもの成長を見守ることができている。今年度も、ナントツ協働運営協議会を5回開催することができ、運動会・校内音楽会・授業参観などに参加していただき評価を受けた。運営委員の皆さんからは、概ね良い評価や感想をいただいている。協議会の中で学校と地域・家庭の連携の大切さを確認し、学校評価の結果を基にした今年度の振り返りや次年度に向けての改善等について報告した。来年度に向けてのご意見等を基に、よりよい教育活動を目指して、連携・協働を図りながら取り組んでいきたい。ブロック中学校職員による授業参観では、児童の様子や授業についての肯定的なフィードバックを受けている。	
中期取組目標振り返り	「子ども一人ひとりを大切にしながら、子どもたちが豊かに学び、活躍できる学校づくり」という中期取組目標をもとに日々の授業、学校行事、地域行事が連携して取り組むことができた。基礎基本の定着については、児童に差があり今後も引き続き取り組んでいきたい。集団の中で自己肯定感・自己有用感を高め、一人ひとりが積極的に自分らしさを発揮できるようにするために、重点研との連動を図り、子どもたちの学習意欲と学力向上を目指していきたい。	「子ども一人ひとりを大切にしながら、子どもたちが豊かに学び、活躍できる学校づくり」という中期取組目標をもとに日々の授業、学校行事、地域とつながる活動に取り組むことができた。一部教科分担任制を取り入れ、チーム学年経営を進めることにより、多くの職員で児童をサポートできる環境づくりをした。来年度も、集団の中で自己肯定感・自己有用感を高め、一人ひとりが積極的に自分らしさを発揮できる学校づくりに努めたい。基礎基本の定着については、校内重点研究との連動を図り、子どもたちの学習意欲と学力向上を目指して取り組んでいきたい。	

重点取組分野	令和5年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	①単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをし、目指す姿や身に付けた力を子どもたちと共有することで主体的に学習を進められるようにします。②重点研テーマを「主体的な学びを大切に、互いに認め合える子の育成」とし、国語科を中心に授業研究に取り組み、言語活動の充実を図りながら表現力を高めるとともに、主体的に課題に向き合い、他者と協働しながら解決しようとする姿を目指します。③ICTの活用を積極的に取り入れた授業づくりをします。	重点研究の授業研究会や研修会を中心に、国語科の研究に取り組んだ。児童の実態をもとに、身に付けさせたい力や言語活動、教材という視点から授業者が単元構想を提案し、それを部会や全体会で協議する中で、学校全体で主体的に自分の思いや考えを表現しようとする児童の育成を目指すことができた。学年の実態に応じてICTを授業の中に取り入れることで、個別最適な学びや協働的な学習活動の実現につながった。	B
豊かな心	①全教育活動を通して道徳教育の充実を図ります。②学校行事、ペア活動の充実を図り、様々な集団活動を通し、思いやりの心や協力する心、自己有用感を育てます。③家庭や地域との連携を図り、様々な人と関わることで気持ちをつなげるよさを実感できるようになります。	全職員が人権尊重の精神を意図して支援・指導にあたる姿が見られた。道徳の授業を実践して足跡の掲示やフィードバックを行い、各学級の人格目標の掲示と振り返りを行い、豊かな心の育成につながっていった。総合的な学習や学地協働事業の活動を行うことで、地域とのつながりを深めたり、ペア活動の充実が図られたりした。	B
健やかな体	①規則正しい生活をしようとする態度を育てるとともに、子どもたちの主体的な活動を通して基本的な生活習慣を整えていきます。②体育科を中心とした健康に関する学習の充実を図ると共に、制限された環境の中でも運動量を確保しながら、体力向上を目指します。③計画的に食育に取り組み、食事の重要性についての理解を深め、食への興味関心を高めていきます。	各学年の体育科の授業、個別支援級の体育の授業では、運動量を確保しながら体力向上を目指す児童と職員の間がみられた。授業内では、展開を同じようにすることで安心して授業に取り組むことができていた。体育の授業内で、体を動かす楽しさに気づき、運動時間を増やしたり、柔軟性や持久力を高めたりする運動を取り入れた。食事や睡眠など規則正しい生活習慣を身に付け、健康的な生活を送るよう継続した指導と情報発信を行った。	B
地域連携	①ナントツ協働運営協議会において、学校運営方針を積極的に発信するとともに、授業や学校行事の参観を通し客観的な意見や評価をいただき、子どもたちにとって最善の教育活動実現に向けて取り組みます。②地域の教育力を積極的に学校での教育活動に取り入れ学びの環境の充実を図ります。	ナントツ協働運営協議会を5回開催し、地域協働本部と協働して学校づくりに参画してもらう体制づくりが定着した。授業参観や行事の参観を通して意見や評価をもらい、学校づくりに活かすことができた。また、地域の方と連携を取り、児童と地域の方がコミュニケーションを取れる環境作りをした。	A
いじめへの対応	①月1回定期的に校内いじめ防止対策委員会を実施し、専任を中心とした組織的な児童指導・支援体制を整え、教職員がチームとして認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努めます。②日常に潜むいじめについて丁寧な実態把握に努め、子どもの心情に寄り添うことを徹底します。	定期的な校内いじめ防止委員会の開催により、全職員で児童理解・実態把握といじめ認知を積極的に行った。認知した案件について、丁寧な対応と保護者との情報共有を心がけ、再発防止に努めている。聞き取り、アンケート等を適宜行った。今年度はいじめについての研修を4回実施し、教職員の意識を高めることができた。	B
人材育成・組織運営(働き方)	①各学年の学級担任が互いに教科分担任することにより、学年の全ての教員が全ての児童と日常的、継続的に関わる状況を生み出し、児童の心の安定につなげることを目指します。②メンターチームの活動の充実とともに、教科指導・人権教育・児童指導・危機管理対応などの能力向上を図ります。③会議の内容精選や組織の仕事分担の効率化を図り、全職員の働き方改革につなげます。	一部教科分担任制を取り入れ、専科の授業を多くすることで、チーム学年経営の体制が整ってきた。多くの職員が目で見守りサポートすることで、児童が安心して学校生活をおくる環境になった。メンターチームの課題に合わせて活動を計画し、教科指導・児童指導・人権教育・危機管理対応などの資質・能力の向上を図ることができた。	B
児童指導	①担任、専任、専科が連携し合い、情報を素早く得ると共に、管理職や全体での情報共有を迅速に行い、チームとして児童指導にあたるようにします。②学校のきまりや生活スタンダードを共通理解し、児童に対する指導が変わらず一定のものになるようにすることで、子どもが安心して学校生活を送ることができるようにします。	学校内外の諸問題の解決につなげるために、職員会議では毎回、児童指導に関する機会を設け、いじめ研修なども定期的に開催し、専任に情報を集め、学年内で情報共有を行ったことで、チームで子どもたちに寄り添うとともに、一貫した指導・支援をすることができた。また、児童や保護者の話し合いを適宜行った。児童指導にあたっては、養護教諭との連携が重要であることが改めて明確になった。	B
特別支援教育	①特別支援コーディネーターを複数配置し、配慮を要する児童に対して、共感的な児童理解を大切にしながら、個に応じた支援体制を充実させます。②必要に応じてスクールカウンセラーや外部機関とも連携を密にし、より良い支援の在り方を考え実践していきます。	特別支援教育の視点をもって、一人ひとりに寄り添った支援を心がける職員の間が見られた。保護者やSC、SSWと共に、児童にとってよりよき学びの場を考えたことができた。教科担任や、個別支援学級との連携の強化を図った。コーディネーター内での役割分担を来年度ははっきりとさせ、書類作成等落ちがちなようにしたい。	A
安全管理	①児童の安全を第一に考え、日常の教育活動の他、行事や校外学習等での安全に十分配慮し、けがや事故の未然防止に向けた対策を徹底します。②子どもたちが安心・安全に過ごせるように環境整備を推進すると共に、防災訓練・交通安全指導等を通して、危機管理意識を高めていきます。	危機管理意識を高くもち、安全安心を最優先に教育活動を実施しようとした。避難訓練や交通安全指導等を実施することで、児童自身の安全に対する意識が向上している。怪我や事故がないよう、事前検分をしっかり行い、児童の安全管理に努めた。地震、火災、不審者対応の避難訓練を通して、非常時に一人ひとりが落ち着いて行動できるように取り組んだ。	B
ブロック内評価後の気付き	合同授業研究会をや中学校職員による小学校授業参観、合同の人権研修を行うことにより、「他の人や社会に役立つ人を目指して、主体的に行動し、たくましく生きる子ども」を目標とした各教科・領域の取り組みについて、共通の視点をもって教育活動を展開していくことができた。YPAアセスメントを実施し、児童・生徒の社会的スキルの状況把握と育成に努めた。人権教育のあり方について、情報交換を行い、互いの実践について高め合うことができた。新型コロナウイルス感染症の為、約2年間ブロックでの交流が実施できず、その間に職員の異動等でブロックでの情報共有が難しい状況だったので、これからも、ブロックでの共通認識を高めていく必要がある。	ブロックでの交流がコロナ禍以前の状態に戻り、合同の人権研修会、合同授業研究会や中学校職員による小学校授業参観を行うことができた。「他の人や社会に役立つ人を目指して、主体的に行動し、たくましく生きる子ども」を目標とした各教科・領域の取り組みについて、共通の視点をもってより充実した教育活動を展開していくことができた。YPAアセスメントを実施し、児童・生徒の社会的スキルの状況把握と育成に努めた。コロナ禍とその間の教職員の異動で、ブロックでの情報共有が難しい状況だったが、今年度は、9年間で育てる子ども像の実現のための資質と能力についての共通理解を図ることができた。	
学校関係者評価	学校と家庭、地域が一体となって子どもの成長を見守ることができている。今年度も、ナントツ協働運営協議会を5回開催することができ、運動会・校内音楽会・授業参観などに参加していただき評価を受けた。運営委員の皆さんからは、概ね良い評価や感想をいただいている。協議会の中で学校と地域・家庭の連携の大切さを確認し、学校評価の結果を基にした今年度の振り返りや次年度に向けての改善等について報告した。来年度に向けてのご意見等を基に、よりよい教育活動を目指して、連携・協働を図りながら取り組んでいきたい。ブロック中学校職員による授業参観では、児童の様子や授業についての肯定的なフィードバックを受けている。	学校と家庭、地域が一体となって子どもの成長を見守ることができている。今年度も、ナントツ協働運営協議会を5回開催することができ、運動会・校内音楽会・授業参観などに参加していただき評価を受けた。運営委員の皆さんからは、概ね良い評価や感想をいただいている。協議会の中で学校と地域・家庭の連携の大切さを確認し、学校評価の結果を基にした今年度の振り返りや次年度に向けての改善等について報告した。来年度に向けてのご意見等を基に、よりよい教育活動を目指して、連携・協働を図りながら取り組んでいきたい。ブロック中学校職員による授業参観では、児童の様子や授業についての肯定的なフィードバックを受けている。	
中期取組目標振り返り	「子ども一人ひとりを大切にしながら、子どもたちが豊かに学び、活躍できる学校づくり」という中期取組目標をもとに日々の授業、学校行事、地域とつながる活動に取り組むことができた。基礎基本の定着については、児童に差があり今後も引き続き取り組んでいきたい。集団の中で自己肯定感・自己有用感を高め、一人ひとりが積極的に自分らしさを発揮できるようにするために、重点研との連動を図り、子どもたちの学習意欲と学力向上を目指していきたい。	「子ども一人ひとりを大切にしながら、子どもたちが豊かに学び、活躍できる学校づくり」という中期取組目標をもとに日々の授業、学校行事、地域とつながる活動に取り組むことができた。一部教科分担任制を取り入れ、チーム学年経営を進めることにより、多くの職員で児童をサポートできる環境づくりをした。来年度も、集団の中で自己肯定感・自己有用感を高め、一人ひとりが積極的に自分らしさを発揮できる学校づくりに努めたい。基礎基本の定着については、校内重点研究との連動を図り、子どもたちの学習意欲と学力向上を目指して取り組んでいきたい。	

重点取組分野	令和6年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	①単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをし、目指す姿や身に付けた力を子どもたちと共有することで主体的に学習を進められるようにします。②重点研テーマを「主体的な学びを大切に、互いに認め合える子の育成」とし、国語科を中心に授業研究に取り組み、言語活動の充実を図りながら表現力を高めるとともに、主体的に課題に向き合い、他者と協働しながら解決しようとする姿を目指します。③ICTの活用を積極的に取り入れた授業づくりをします。	①単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをし、目指す姿や身に付けた力を子どもたちと共有することで主体的に学習を進められるようにします。②重点研テーマを「主体的な学びを大切に、互いに認め合える子の育成」とし、国語科を中心に授業研究に取り組み、言語活動の充実を図りながら表現力を高めるとともに、主体的に課題に向き合い、他者と協働しながら解決しようとする姿を目指します。③ICTの活用を積極的に取り入れた授業づくりをします。	
豊かな心	①全教育活動を通して道徳教育の充実を図ります。②学校行事、ペア活動の充実を図り、様々な集団活動を通し、思いやりの心や協力する心、自己有用感を育てます。③家庭や地域との連携を図り、様々な人と関わることで気持ちをつなげるよさを実感できるようになります。	①全教育活動を通して道徳教育の充実を図ります。②学校行事、ペア活動の充実を図り、様々な集団活動を通し、思いやりの心や協力する心、自己有用感を育てます。③家庭や地域との連携を図り、様々な人と関わることで気持ちをつなげるよさを実感できるようになります。	
健やかな体	①規則正しい生活をしようとする態度を育てるとともに、子どもたちの主体的な活動を通して基本的な生活習慣を整えていきます。②体育科を中心とした健康に関する学習の充実を図ると共に、制限された環境の中でも運動量を確保しながら、体力向上を目指します。③計画的に食育に取り組み、食事の重要性についての理解を深め、食への興味関心を高めていきます。	①規則正しい生活をしようとする態度を育てるとともに、子どもたちの主体的な活動を通して基本的な生活習慣を整えていきます。②体育科を中心とした健康に関する学習の充実を図ると共に、日常的に運動に親しみ機会をつくり、体力向上を目指します。③計画的に食育に取り組み、食事の重要性についての理解を深め、食への興味関心を高めていきます。	
地域連携	①ナントツ協働運営協議会において、学校運営方針を積極的に発信するとともに、授業や学校行事の参観を通し客観的な意見や評価をいただき、子どもたちにとって最善の教育活動実現に向けて取り組みます。②地域の教育力を積極的に学校での教育活動に取り入れ学びの環境の充実を図ります。	①ナントツ協働運営協議会において、学校運営方針を積極的に発信するとともに、授業や学校行事の参観を通し客観的な意見や評価をいただき、子どもたちにとって最善の教育活動実現に向けて取り組みます。②地域の教育力を積極的に学校での教育活動に取り入れ学びの環境の充実を図ります	
いじめへの対応	①月1回定期的に校内いじめ防止対策委員会を実施し、専任を中心とした組織的な児童指導・支援体制を整え、教職員がチームとして認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努めます。②日常に潜むいじめについて丁寧な実態把握に努め、子どもの心情に寄り添うことを徹底します。	①月1回定期的に校内いじめ防止対策委員会を実施し、専任を中心とした組織的な児童指導・支援体制を整え、教職員がチームとして認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努めます。②日常に潜むいじめについて丁寧な実態把握に努め、子どもの心情に寄り添うことを徹底します。	
人材育成・組織運営(働き方)	①各学年の学級担任が互いに教科分担任することにより、学年の全ての教員が全ての児童と日常的、継続的に関わる状況を生み出し、児童の心の安定につなげることを目指します。②メンターチームの活動の充実とともに、教科指導・人権教育・児童指導・危機管理対応などの能力向上を図ります。③会議の内容精選や組織の仕事分担の効率化を図り、全職員の働き方改革につなげます。	①各学年の学級担任が互いに教科分担任することにより、学年の全ての教員が全ての児童と日常的、継続的に関わる状況を生み出し、児童の心の安定につなげることを目指します。②メンターチームの活動の充実とともに、教科指導・人権教育・児童指導・危機管理対応などの能力向上を図ります。③会議の内容精選や組織の仕事分担の効率化を図り、全職員の働き方改革につなげます。	
児童指導	①担任、専任、専科が連携し合い、情報を素早く得ると共に、管理職や全体での情報共有を迅速に行い、チームとして児童指導にあたるようにします。②学校のきまりや生活スタンダードを共通理解し、児童に対する指導が変わらず一定のものになるようにすることで、子どもが安心して学校生活を送ることができるようにします。	①担任、専任、専科が連携し合い、情報を素早く得ると共に、管理職や全体での情報共有を迅速に行い、チームとして児童指導にあたるようにします。②学校のきまりを共通理解し、児童に対する指導が変わらず一定のものになるようにすることで、子どもが安心して学校生活を送ることができるようにします。	
特別支援教育	①特別支援コーディネーターを複数配置し、配慮を要する児童に対して、共感的な児童理解を大切にしながら、個に応じた支援体制を充実させます。②必要に応じてスクールカウンセラーや外部機関とも連携を密にし、より良い支援の在り方を考え実践していきます。	①特別支援コーディネーターを複数配置し、配慮を要する児童に対して、共感的な児童理解を大切にしながら、個に応じた支援体制を充実させます。②必要に応じてスクールカウンセラーや外部機関とも連携を密にし、より良い支援の在り方を考え実践していきます。	
安全管理	①児童の安全を第一に考え、日常の教育活動の他、行事や校外学習等での安全に十分配慮し、けがや事故の未然防止に向けた対策を徹底します。②子どもたちが安心・安全に過ごせるように環境整備を推進すると共に、防災訓練・交通安全指導等を通して、危機管理意識を高めていきます。	①児童の安全を第一に考え、日常の教育活動の他、行事や校外学習等での安全に十分配慮し、けがや事故の未然防止に向けた対策を徹底します。②子どもたちが安心・安全に過ごせるように環境整備を推進すると共に、防災訓練・交通安全指導等を通して、危機管理意識を高めていきます。	
ブロック内評価後の気付き	合同授業研究会をや中学校職員による小学校授業参観、合同の人権研修を行うことにより、「他の人や社会に役立つ人を目指して、主体的に行動し、たくましく生きる子ども」を目標とした各教科・領域の取り組みについて、共通の視点をもって教育活動を展開していくことができた。YPAアセスメントを実施し、児童・生徒の社会的スキルの状況把握と育成に努めた。人権教育のあり方について、情報交換を行い、互いの実践について高め合うことができた。新型コロナウイルス感染症の為、約2年間ブロックでの交流が実施できず、その間に職員の異動等でブロックでの情報共有が難しい状況だったので、これからも、ブロックでの共通認識を高めていく必要がある。	合同授業研究会をや中学校職員による小学校授業参観、合同の人権研修を行うことにより、「他の人や社会に役立つ人を目指して、主体的に行動し、たくましく生きる子ども」を目標とした各教科・領域の取り組みについて、共通の視点をもって教育活動を展開していくことができた。YPAアセスメントを実施し、児童・生徒の社会的スキルの状況把握と育成に努めた。人権教育のあり方について、情報交換を行い、互いの実践について高め合うことができた。新型コロナウイルス感染症の為、約2年間ブロックでの交流が実施できず、その間に職員の異動等でブロックでの情報共有が難しい状況だったので、これからも、ブロックでの共通認識を高めていく必要がある。	
学校関係者評価	学校と家庭、地域が一体となって子どもの成長を見守ることができている。今年度も、ナントツ協働運営協議会を5回開催することができ、運動会・校内音楽会・授業参観などに参加していただき評価を受けた。運営委員の皆さんからは、概ね良い評価や感想をいただいている。協議会の中で学校と地域・家庭の連携の大切さを確認し、学校評価の結果を基にした今年度の振り返りや次年度に向けての改善等について報告した。来年度に向けてのご意見等を基に、よりよい教育活動を目指して、連携・協働を図りながら取り組んでいきたい。ブロック中学校職員による授業参観では、児童の様子や授業についての肯定的なフィードバックを受けている。	学校と家庭、地域が一体となって子どもの成長を見守ることができている。今年度も、ナントツ協働運営協議会を5回開催することができ、運動会・校内音楽会・授業参観などに参加していただき評価を受けた。運営委員の皆さんからは、概ね良い評価や感想をいただいている。協議会の中で学校と地域・家庭の連携の大切さを確認し、学校評価の結果を基にした今年度の振り返りや次年度に向けての改善等について報告した。来年度に向けてのご意見等を基に、よりよい教育活動を目指して、連携・協働を図りながら取り組んでいきたい。ブロック中学校職員による授業参観では、児童の様子や授業についての肯定的なフィードバックを受けている。	
中期取組目標振り返り	「子ども一人ひとりを大切にしながら、子どもたちが豊かに学び、活躍できる学校づくり」という中期取組目標をもとに日々の授業、学校行事、地域とつながる活動に取り組むことができた。基礎基本の定着については、児童に差があり今後も引き続き取り組んでいきたい。集団の中で自己肯定感・自己有用感を高め、一人ひとりが積極的に自分らしさを発揮できるようにするために、重点研との連動を図り、子どもたちの学習意欲と学力向上を目指していきたい。	「子ども一人ひとりを大切にしながら、子どもたちが豊かに学び、活躍できる学校づくり」という中期取組目標をもとに日々の授業、学校行事、地域とつながる活動に取り組むことができた。基礎基本の定着については、児童に差があり今後も引き続き取り組んでいきたい。集団の中で自己肯定感・自己有用感を高め、一人ひとりが積極的に自分らしさを発揮できるようにするために、重点研との連動を図り、子どもたちの学習意欲と学力向上を目指していきたい。	